

JFA 第49回 全日本U-12サッカー選手権大会中西部予選 要項

趣旨	静岡県の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことの出来るようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
主催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
後援	日本テレビ放送網 報知新聞社 静岡県教育委員会 静岡第一テレビ
特別協賛	YKK
協賛	花王・日清オイリオグループ・ゼビオ・日本マクドナルド・カバヤ食品
開催協力	モルテン
期日	2025年10月11(土)、12日(日)、予備日25日(土)
会場	相良総合人工芝グラウンドほか(中西部4地区内)
参加資格	① 本大会の趣旨に賛同し、第4種加盟登録した団体(チーム)であること。(準加盟チーム含む) ② 上記団体(チーム)に所属する4年生以上の選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手登録証を有するもの。 ③ 参加チームは単一チームに限られ、年間を通して継続的に活動していること。 ④ 同一チームから地区予選に複数チーム参加し、どちらかのチームが中西部予選に出場するときは、登録選手枠の空き分だけ、もう一つのチームから追加できる。 ⑤ 参加選手は健康であり、かつ保護者の同意を得ること。 ⑦ 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。 ⑧ 各地区U-12リーグに参加していること。
参加チーム	焼津地区4チーム、藤枝地区6チーム、島田地区4チーム、榛原地区2チーム、計16チーム(県大会出場枠:3チーム)
参加費	3,000円/チーム(大会初日当日徴収)
チーム編成	① 大会エントリー表に記載された選手・指導者(代表者・監督・コーチ)・医療従事者に大会出場資格が与えられる。 ② エントリー登録数は選手20名以下、指導者7名以下、医療従事者1名以下とし、当日、試合毎にベンチに入ることができる。 ③ 選手・指導者・医療従事者はエントリー表に記載された中から、選手20名以下、指導者2名以上5名以下(医療従事者を含む)を選出 する。 ① 16チームでトーナメント方式で行い、1位、2位、3位の3チームが県大会出場とする。
競技方法	② 40分ゲーム(20-5-20)とし、決しない場合PK方式(3人)で勝者を決める。 ③ 決勝戦と3位決定戦は延長戦10分を行い、決着がつかなければPK方式(3人)で勝者を決める。
競技規則	① (公財)日本サッカー協会8人制サッカー競技規則及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会要項並びに県大会試合細則に準ずる。 ② 選手交代は交代ゾーンを設ける。また、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める) ③ ベンチに入る交代要員はピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ビブス可) ④ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのままで、他の選手と重複しない番号のFPのユニホームを着用する。(GK時の背番号と同一の番号が望ましい) ⑤ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ビブスも可とする。 ⑥ 退場者があった場合は控えの選手を補充できる。 ⑦ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。また、リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。 ⑧ 地区大会を通じて、退場を命じられた選手及び警告累積2回を受けた選手は、次の1試合に出場できない。 ⑨ ピッチサイズは縦68m×横50mを基本とする。ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。 ⑩ グリーンカード制度を導入する。
審判	① 2人制審判とし、主審及び補助審判員とも3級以上とする。 ② チーム帯同審判(ベンチ入り可)とする。 ③ 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態にすること。(審判着のままでベンチに入することは許されない。)
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの前面に付いた完全に異色のユニフォームを2種類用意すること。 ② 選手は大会エントリー表に記載した番号のユニフォームを着用する。番号は1～99の整数を使用し、0、00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。
試合球 その他	③ チームのユニフォーム(GKのユニフォームを含む)のうち、シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。 公認4号球を各チーム持ち寄りとするが、会場によっては本部が用意することもある。 ① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。また、試合開始10分前に選手は本部へ集合し円滑な試合進行に協力する。 ② エントリーされた選手・監督・コーチは、次の方法によりJFA登録(顔写真必須)についてチェックを受けなければならない。 選手は登録選手一覧を印刷したもの又は個別の選手証を印刷したものでチェックを受けなければならない。 監督・コーチは、印刷されたライセンス証によりチェックを受けることが望ましいが、ライセンス証を電子媒体による画面表示することでチェックを受けても良い。ただし、ベンチ入りの指導者は印刷されたライセンス証を首から掲げることを推奨する。 ③ 試合終了後は相手チームベンチへ挨拶に行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空ける。 ④ ベンチに入る指導者は2名以上5名以下(医療従事者を含む)とし常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようなサポートを心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ⑤ 本大会は、原則として飲水タイムを設けないが、天候の状況に応じて飲水タイムをとることもあり得る。 また、ピッチサイドには給水用のボトルを置くことができる。 ⑥ 大会要項及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会試合細則に規定されていない事項は、中西部支部4種委員会にて協議の上決定する。 ⑦ エントリー表は受付時に1部提出し、選手チェック用とする。また、試合開始30分前までに先発メンバーを記入したエントリー表を本部と相手チームに各1部提出する。 ⑧ 各地区の4種委員長は、地区大会で利用したメンバー表及び地区大会での警告・退場者を、当番地区の4種委員長に提出する。 ⑨ 本大会はマッチウエルフェアオフィサーを置く。 医療従事者がベンチに入る場合はビブスを着用する。